

## 第十回気象文化大賞 受賞者（国内・アジア・太平洋）

受賞者	所属機関	テーマ	助成額
成田知己	湘南工科大学工学部 電気電子工学科	アジア・太平洋地域の国境なき落雷観測網の構築	100 万円
瀧本家康	宇都宮大学 共同教育学部	北関東内陸に位置する宇都宮市の熱中症リスクの観測と評価	100 万円
岩嵯利勝	高岡市立中田中学校	主体的に気象情報を収集し、適切に判断し、自ら避難行動をとることで気象災害から身を守ることができ る生徒を育てる中学校科学技術教育の実践	30 万円
永井秀行	沖縄県立 コザ高等学校	タブレット PC を用いた資料配布環境の構築と避難行動判断につながる気象予報を課題とするワークショップ授業開発	60 万円
Dr. Thu Han Tun	Marine Mechanical Engineering Department, Myanmar Maritime University"	The Study of Hydroplane for Submarine Hull Form Using Experimental Method and CFD Study	44 万円
山下幸三	足利大学工学部	実験的方法と CFD 研究を用いた潜水艦船型用の水上飛行機の研究	90 万円
竹中栄晶	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター	雷雲の充放電監視を目的とした地上静電界計測網の拡充 新型コロナウイルスによって引き起こされる感染症対策研究に資する AMATERASS データを最大活用した環境情報インデックスの準リアルタイム解析と速報に関する研究。	70 万円

布施梓	東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター	台風観測気球開発を通じた共創型研究による気象サイエンスコミュニケーションの実践的研究	100 万円
長尾年恭	東海大学	超低消費電力長距離通信 LPWA を用いた地磁気観測による富士山噴火予測研究	100 万円
高橋修平	北海道立オホーツク流氷科学センター	北海道紋別市における上位蜃気楼発生予測と、蜃気楼観察クルーズの観光モデル開発	100 万円
Hiroshi Okochi	Certified NPO Mount Fuji Research Station	Comparative Research of the Effect of Air pollution on the Formation of Heavy Rainfall in the Tropical and Temperate Regions under Global Warming; for the development of human resources for the observation of meteorology and air quality in Cambodia 地球温暖化下の熱帯および温帯地域における豪雨の形成に対する大気汚染の影響の比較研究：カンボジアにおける気象と大気質の観測のための人材育成	200 万円
Masashi Kamogawa	UNISEC	Engineering model development of 6U Cube Sat observing atmospheric and space electricity for the earthquake prediction 地震予知のために大気および宇宙電力を観測する 6U Cube Sat の工学モデル開発	250 万円
山崎政彦	日本大学理工学部航空宇宙工学科	地震先行現象検出特化型 CubeSat のエンジニアリング・モデル製作	100 万円
和田龍一	認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会	雷から発生する窒素酸化物の通年地上観測	100 万円